

平成 30 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 幸 和 製 作 所  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 田 秀 明  
(コード番号：7807 東証 JASDAQ)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 大 井 実  
(TEL. 072-238-0605)

平成 30 年度第 12 回製品安全対策優良企業表彰「優良賞」受賞のお知らせ

当社は、経済産業省が主催する「平成 30 年度製品安全対策優良企業表彰 (PS アワード 2018)」の中小企業製造・輸入事業者部門におきまして、「優良賞 (審査委員会賞)」を受賞しましたことをお知らせいたします。

記

1. 「製品安全対策優良企業表彰制度」について

本表彰は、製品安全に積極的に取り組んでいる製造事業者、輸入事業者、小売販売事業者、各種団体をそれぞれ企業単位で広く公募し、厳正な審査の上で、「製品安全対策優良企業」として表彰するものです。「安全な製品を製造・輸入するための取組」「製品を安全に使用してもらうための取組」「出荷後に安全上の問題が判明した際の取組」「製品安全文化構築への取組」の 4 つの視点を審査基準として、審査時点までの過去約 3 年間の製品安全に対する取組が評価対象となります。

(経済産業省 製品安全対策優良企業表彰 WEB サイトより一部引用・抜粋、  
<http://www.meti.go.jp/press/2018/11/20181107003/20181107003.html>)

2. 受賞のポイント

今回の受賞は、次の 3 点の「製品安全」への取組が表彰されたものであり、過去 3 年間における当社の「製品安全」に対する日々の取組が評価されたものであります。



○製造品に対する品質確保の実践

製造を委託する製造工場の運用体制に併せて、確実に品質確保ができる体制を、製造工場とともに構築している。また、品質管理の工程図も製造工場と協力して作成し、工場を訪問して作業方法や検査方法について定期的な確認と指導を実施している。

### ○不具合・事故情報の迅速で確実な把握と対応

製品の不具合・事故情報については、お客様センターや修理依頼からの連絡、レンタル事業所や量販店からの連絡、営業部門からの報告等、複数のルートで入ってくる情報を品質保証部門で集約している。事故発生が報告された場合には、非重大事故であっても、速やかに社長・全役員を含む製品事故対策委員会を開催し、不具合に対する対応フローに従い対応を進める。

### ○製品開発プロセスにおける経営層を含めた安全性の確認の実施と関係部署の明確化

社内で規定した開発プロセス表に基づき、商品企画から量産開始までの各段階において、確認すべき項目と方法が明確に規定されており、経営層の責任によりそれを承認した記録が保存される仕組みが実践されている。開発プロセスを通じて、5回のデザインレビューの実施が求められており、設定すべき目標値、確認すべきこと、決定すべきこと、関係部署が明確に定められており、安全面の確認漏れが発生しない仕組みを構築している。

### 3. 当社の品質に対する今後の取組について

8月にお知らせしましたとおり、当社は、歩行車「ミケーレ WAG01」について、全数自主回収を決定いたしました。今回の受賞は、不具合情報入手の経緯をはじめ、再現検証や原因究明、また当社の意思決定や速やかな対策の実施および対応についても評価をいただいたものになります。

当社は、本表彰をいただいたことをより一層の励みとし、今後品質問題が起きないような体制づくりに努め、“安全に対するお客さまの信頼を得ること”を経営上の最重要課題と認識し、誠実に製品安全の確保に取り組んで参ります。

以上